

第33回電通大コンテストについて

今年はログチェックを行うと、多くの局が大幅に減点と相成りました。特に 7MHz での交信においてミスコピーが多発していました。また交信局数で負けていても、総得点で勝っている局もあります。電通大コンテストは1交信が 2 点以上、かつ短時間のコンテストですので、一局のミスは致命的な失点につながります。またコンテスト期間中はインターネット等を利用して外部から運用情報入手することは禁じられていますので、何らかの手段ですぐに交信内容の裏付けを取る事が出来ません。ただ各バンドの優勝局はほぼ減点なしですが、2位以下の局は無線従事者コードの聞き取りミスが多かったように見受けられます。そのため、本コンテストでは「交信の正確さ」が、最も重視されるのではないかと感じました。

続いて、各バンドについてです。レコードは、21MHz の優勝局が歴代 3 位、SWL の優勝局が歴代 2 位となりました。おめでとうございます。ただ、レコードの更新はこの2つだけでしたので、全体的に参加者が減ってしまったことの影響があるかと思われます。

オールバンド部門は JF1NHD 局が圧勝でした。毎年優勝ラインは 38,000 前後ですが、今年は飛びぬけて 43,000 点を超えての優勝でした。この部門は参加局減少の弊害が最も大きいのですが、その中でも頭一つ抜け出ることができたのは、上記の理由によるものと思います。

3.5MHz 部門はログチェック前は同点だったのですが、これもナンバーのミスコピーによって差が付けられました。そして 2005 年ぶりに参加局が 2 ケタ(10 局)となったので、この調子で来年も多く局に盛り上げていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

7MHz 部門はほとんどすべての局が減点の憂き目にあい、混乱を極めました。ただその中でも JH7UJI 局はログのミスなしで優勝を果たしており、第 28 回から 5 回目の参加にて、このたび初の入賞と相成りました。おめでとうございます。

14, 21, 28MHz 部門と SWL 部門は、去年から比べると盛りあがり欠けたかと思えます。これに懲りず、来年度も引き続きのご参加をよろしく願いいたします。

根強い人気の 50MHz 部門は接戦の末、JL1LNC 局が優勝でした。局数、得点共に JH0CJH 局を下回っていますが 1 マルチ勝っていたために総得点で勝っておりました。他の局も交信局数が勝っていても得点が負けている傾向にあります。マルチもそうですが、UEC 局や I, L 局と交信できたかが勝負の分かれ目であったと思います。

それでは入賞した各局、おめでとうございます。

次回、第 34 回電通大コンテストの開催日時は、2015 年 7 月 25 日 (土) 17:00 ~ 20:00(JST) です。

皆様のご参加を、電通大クラブ一同お待ちしております。

2015 年 1 月 5 日

第 33 回電通大コンテスト担当 JH1LNC